

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.33

令和8年3月16日(月)

文責：校長 園田栄作

思いが伝わり合った感動の卒業式

～ 御来賓・保護者の皆様、ご出席いただきありがとうございました！～

13日(金)に、第21回卒業証書授与式を開催しました。今年度の卒業生は、小学生2名、中学生2名でした。一人一人に、これまでの学校生活での活躍を思い出しながら、心を込めて卒業証書を渡しました。視線をしっかりとこちらに向け、堂々と受け取る卒業生からは、最高学年らしく今日をしっかりとやりきろうとする頼もしさと次のステージに胸を張って羽ばたこうとする力強さを感じました。また、在校生は、これまでお世話になった卒業生へ感謝の思いを伝えようと、挨拶や呼びかけ、歌をはじめすばらしい態度で示しました。たくさんのご来賓や保護者の方にもご出席いただきました。教育委員会の告辞を始め、平戸市長(代理：市民生活部長)、PTA会長からの祝辞を賜ることができ、卒業生は卒業の寂しさを感じながらも、これから進んでいく上での励みになったものと思います。在校生も40名全員の出席のもと卒業生を見送ることができ、これからは自分たちがしっかりと度島小中学校を引き継いでいく思いを新たにしていました。



『式辞』

やわやかな春の日差しに包まれ、真新しくなった校舎に見守られる中での今日の佳き日、平戸市市民生活部長 ○○○○様、PTA会長 ○○○○様をはじめ、たくさんのご来賓の皆様のご臨席を賜り、また、保護者の皆さまのご列席のもと、第二十一回卒業証書授与式を挙げていきますことに、心より感謝いたします。

さて、小学生二名の卒業生、○○○○さん、○○○○さん、中学生二名の卒業生、○○○○さん、○○○○さん、ご卒業おめでとうございます。偶然なのか小学生も中学生も今年度は二名ずつの卒業生となりました。皆さんと初めて出会ったのは、昨年でした。小学生も中学生も、昨年は先輩がいる中での活動であったため、後から付いて行ったり、サポートをしたりと補助的な役割が多かったと思います。しかし、今年度はたとえ二人ずつであっても、活動は例年と同じように行われ、すべてを中心になつて行う二人は、責任の大きさを感じた一年だったのではないかと思います。

小学生の二人は、いつも先頭に立ってリードし、とても頼りがいがありました。運動会では、紅白それぞれのリーダーを担い、勝利を目指し士気を高めました。委員会活動では、実行委員会、生活委員会の委員長を務め、より良い学校になるように中心になつて進めました。長縄チャレンジ大会では、それぞれのリーダーとして新記録達成に向け、チームを引っ張りました。このように、活動の中心には、いつも二人がいました。

中学生の二人は、とてもやさしく、安心感がありました。生徒会では、生徒会長と学習委員長を務め、「思いを形にするために 一人一躍で個性を活かすこと」を掲げ、みんなが輝くように、新しいスタイルを築きました。部活動では、男女それぞれのキャプテンを務め、チームをまとめました。団体戦優勝など素晴らしい成績を残し、「度島中ここにあり」を示してくれました。二人がいることで、みんなが思う存分、力を発揮できる安心感がありました。

今年度、合言葉として掲げた「みんなが Smile & ちょこっと Challenge & つなげる life」を、中心になつて実践してくれました。行事を成し遂げる度に、充実感に溢れた皆さんの笑顔が、小・中学校の仲間同士だけでなく、保護者にも、地域の方にも、先生達にも喜びを広げてくれました。

一年前までは、同学年が二人しかいないことへの不安があったかも知れ

ませんが、きつと今は、二人が先頭に立ってやりきれたことの達成感とお互いや仲間への感謝を感じているのではないのでしょうか。大きい行事に取り組むときには、真っ先にお互いに相談したことでしょう。相談できる仲間がいることの安心感は、二人にしか分からないかけがえのないものだったと思います。悲しいとき、うれしいとき、つらいとき、いつもそばに仲間がいました。仲間とともに力を合わせて頑張ることの素晴らしさを、皆さんの姿で示してくれました。

卒業する四名の皆さんに、二つの言葉を贈ります。一つ目は、「良い準備が、踏み出す一步の力強さになる」。運動会、児童会・生徒会、学習発表会、部活動や社会体育、中学校では実力テストや入試などを思い浮かべてみてください。目標達成に向けしっかり準備してきたことで、大きな成果がありました。逆に準備が十分できていないと不安になり、自信を持って臨みません。これから出会う取組に向け、自分の目標を立て、良い準備をして臨んでほしいと願います。

二つ目は、「これからも『ありがとう』を言える人であってほしい」。皆さんは、今でも十分できていることですが、これからも「ありがとう」の感謝の心を持ち続けてほしいと願います。「ありがとう」を言えるということは、人がしてくれた恩に気付く心があり、それを声に出して言える勇気がある素晴らしいことです。その素敵な心で周りを温かくしてくれることを願います。ぜひ、今日はその一步として、これまで励まし、背中を押し、育ててくださった家族に、「ありがとう」を贈りましょう。

さて、保護者のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございます。お子様が立派に成長し巣立っていく今日の姿を見られて、喜びもひとしおのことと拝察いたします。学校として不十分な点多々あったとは存じますが、今日まで本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私も、明日からも、前進していく四名を見守り、応援してまいります。

卒業するみなさんにとって、素敵な笑顔で、輝く未来となることを祈念して、式辞といたします。

令和八年三月十三日

平戸市立度島小中学校 校長 園田 栄作